

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20080929/315572/>

<http://nobumasa-web.hp.infoseek.co.jp/boot/boot.html>

<http://homepage2.nifty.com/winfaq/howtoboot.html>

http://www14.plala.or.jp/campus-note/vine_linux/install/boot_sequence.html

HDD からオペレーティングシステムを起動する場合、次のようなステップが実行されています。

1. POST (Power-on Self Test) が実行されます。
2. BIOS がブートデバイスを検索します。
3. 最初のブートデバイスの MBR をメモリー上にロードし、制御を渡します。
(ブートデバイスがフロッピーディスクの場合はブートセクターに制御を渡します。)
4. MBR のブートストラップコードは、パーティションテーブルを検索し、ブート識別子がアクティブ (0x80) なパーティションのブートセクターをメモリー上にロードして制御を渡します。
5. ブートセクターに記録されたプログラムは、OS ローターをメモリー上にロードし、制御を渡します。
(DOS/Windows の場合は IO.SYS が、Windows NT/2000 の場合は NTLDR がロードされます。)
6. OS の起動が開始されます。

単純化すると以下ようになります。

* BIOS -> MBR -> ブートセクター -> IO.SYS または NTLDR